

－目次－

1	インストール	4
1.1	インストールについて	4
1.2	「登録管理システム Ver4.0」のインストール	4
1.3	「Adobe Reader(*1)」のインストール	4
1.4	アンインストール	6
2	共通操作	7
2.1	年度・実施主体設定	8
2.2	医療意見書の内容の入力	8
2.2.1	コンボボックスによる入力	9
2.2.2	チェックボックスによる入力	9
2.2.3	ICDコードの入力について	9
2.2.4	転入データの入力について	10
2.2.5	継続データの入力について	10
2.2.6	旧 ICD コードについて	10
2.3	意見書の登録画面について	11
2.4	意見書の修正画面について	12
2.5	検索機能	12
2.6	印刷機能	13
2.7	データベースの修復と最適化	14
2.8	データ出力	15
2.9	データ読込	17
2.10	データ削除	19
2.11	保健所管理	19
2.12	データベースのバックアップ	20
3	各医療意見書について	21
3.1	悪性新生物の医療意見書	21
3.2	慢性腎疾患の医療意見書	24
3.3	慢性呼吸器疾患の医療意見書	26
3.4	慢性心疾患の医療意見書	28
3.5	内分泌疾患の医療意見書	31
3.6	膠原病の医療意見書	33
3.7	糖尿病の医療意見書	36
3.8	先天性代謝異常の医療意見書	39
3.9	血友病等血液・免疫疾患の医療意見書	42
3.10	神経筋疾患の医療意見書	45
3.11	慢性消化器疾患の医療意見書	48
3.12	成長ホルモン治療用意見書（初回）	50
3.13	成長ホルモン治療用意見書（継続）	57
4	トラブルシューティング	60
4.1	データベースの修復と最適化	60
4.2	バックアップのすすめ	60
4.3	Windows のメモリーリーク	60
4.4	データ読込みに失敗する	60
5	バックアップについて	61
6	参考文献	62

1 インストール

オペレーティングシステムまたはパソコン環境によって、作業中に数回に渡りパソコンの再起動(リブート)が必要になる場合があります。必ず作業中の他のアプリケーションは全て終了させてからインストールを行ってください。

またインストール前には一時的にオンラインにして、各オペレーティングシステムのセキュリティ強化を中心とした Windows Update 等により最新の状態にアップデートするようしておいてください。

1.1 インストールについて

インストールは以下の手順で行ってください。

「.Net Framework1.1」のインストール

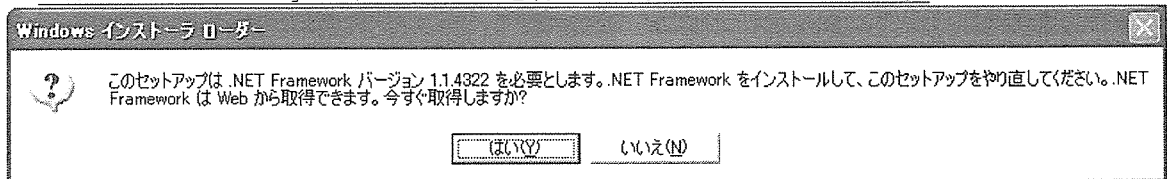
今回の Ver4.0 は MS-Access で開発されたこれまでの Version とは異なり「Visual Basic. NET 2003」で開発されております。このため動作させるには「.Net Framework1.1」が必要です。Ver4.0 をインストールする前に「.Net Framework1.1」をインストールしておく必要があります。なお既にお手持ちのパソコンにインストールされている場合はこの手順は不要です。

1. インストール用 CD-ROM をパソコンにセットします。
2. エクスプローラを起動させます。
3. CD-ROM の¥Tool フォルダにある dotnetfx.exe をダブルクリックします。
メッセージに従いインストール作業を進めます。
4. 同じ¥Tool フォルダにある langpack.exe をダブルクリックします。
メッセージに従いインストール作業を進めます。
5. 同じ¥Tool フォルダにある NDP1.1sp1-KB867460-X86.exe をダブルクリックします。
メッセージに従いインストール作業を進めます。(パソコンの再起動が必要になります。)
6. 最新 Update がある場合、一時的にオンラインにて WindowsUpdate により更新を行ってください。

1.2 「登録管理システム Ver4.0」のインストール

1. CD-ROM 上(ルート)にある setup.exe をダブルクリックします。
メッセージに従いインストール作業を進めます。

*下記のメッセージが表示された場合、「いいえ」を押して一度インストールを中断し上述した「.Net Framework1.1」のインストールを行ってから再試行してください。



2. 以上でインストールは完了です。
3. スタートメニューの「プログラム」の「小児慢性特定疾患 登録管理システム Ver4.0」またはデスクトップ上にある「小慢 登録管理 Ver4.0」をダブルクリックしてプログラムを実行します。

1.3 「Adobe Reader(*1)」のインストール

操作説明書は MS-Word(DOC)形式と Adobe Reader(PDF*2)形式が同封されています。

Word ファイルは MS-Word(2002 以降)もしくはオペレーティングシステムに標準装備されているワードパッドにより閲覧可能です。

PDF ファイルでご覧になりたい場合には以下の手順で Adobe Reader をインストールする必要があります。

1. CD-ROM の¥Tool フォルダにある AcroReader51_JPN.exe をダブルクリックします。
メッセージに従いインストール作業を進めます。
2. スタートメニューの「プログラム」の「小児慢性特定疾患 登録管理システム Ver4.0」にある「操作説明書.PDF」を選ぶことで閲覧することができるようになります。

- *1 : Adobe Reader は AdobeSystemsIncorporated (アドビシステムズ社) の商標です。
- *2 : Adobe Reader で閲覧できるファイル形式。

1.4 アンインストール

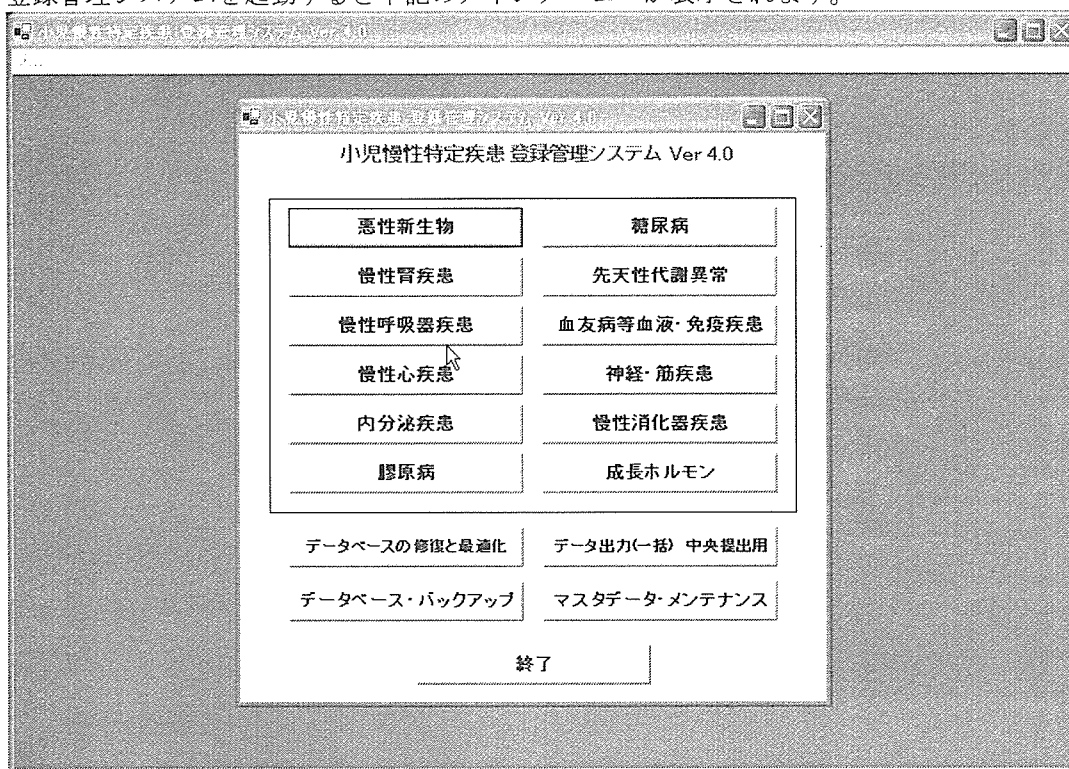
何かの都合により、パソコン上からインストールしたプログラム・データをすべて削除する場合には、以下の手順を行ってください。

1. Windows のコントロールパネルから「プログラムの追加と削除」を起動します。
2. 一覧より「小児慢性特定疾患 登録管理システム Ver4.0」を選択し削除します。
3. 以上でアンインストールは完了です。

「.Net Framework1.1」「Adobe Reader」をアンインストールする場合も、上記同様の手順で行ってください。

2 共通操作

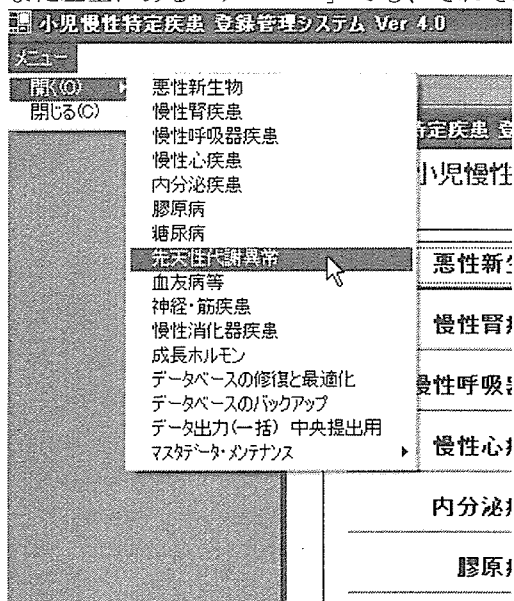
この章では、各医療意見書に共通である基本的な入力方法を説明します。その前にメインメニューについて概略を説明します。登録管理システムを起動すると下記のメインメニューが表示されます。



上段は各疾患群の登録・修正を行うボタンです。詳細は「2. 共通操作」および「3. 各医療意見書について」をご覧ください。その他のボタンについては次の通りです。

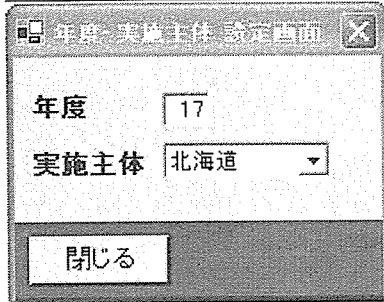
- データベースの修復と最適化 : 詳しくは「2.7 データベースの修復と最適化」をご覧ください。
- データベースのバックアップ : 詳しくは「2.12 データベースのバックアップ」をご覧ください。
- データ出力(一括) 中央提出用 : 詳しくは「2.8 データ出力」をご覧ください。
- マスタデータ・メンテナンス : 詳しくは「2.1 年度・実施主体設定」および「2.11 保健所管理」をご覧ください。

また左上にある「メニュー」でも、それぞれの機能を実行することができます。

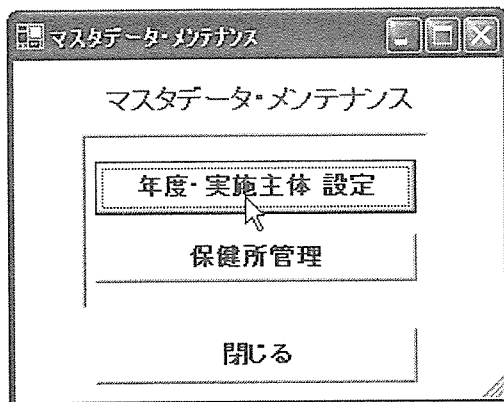


2.1 年度・実施主体設定

この画面は初回時に自動起動されます。
登録を開始する「年度」と「実施主体」を必ず入力します。

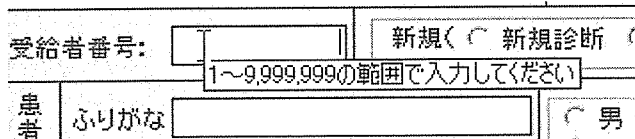


設定された年度・実施主体は、意見書登録時に自動的に反映されます。
年度の変更は、基本的に年度切り替えの時のみ変更するようにしてください。
その場合は、メインメニューの「マスタデータ・メンテナンス」を開き「年度・実施主体設定」のボタンを押すと、上記の画面が表示されます。



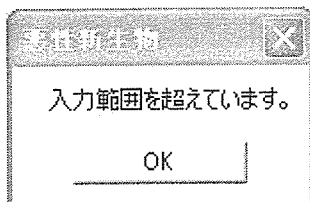
2.2 医療意見書の内容の入力

入力項目にカーソルがある場合、その項目についての入力範囲・規約などの説明が表示されます。その内容に沿って入力を行う事が基本です。



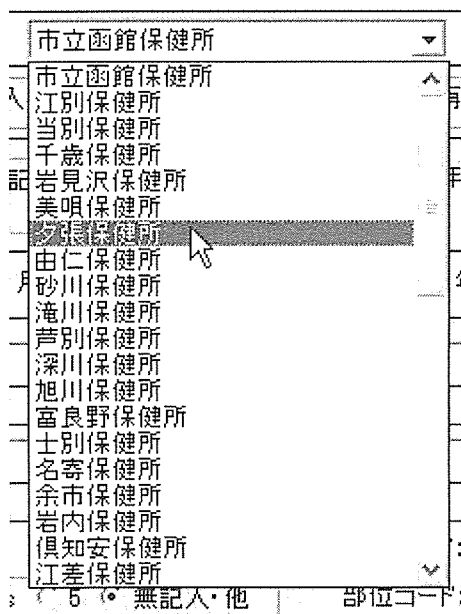
現在カーソルがある入力項目についての説明（範囲・規約など）

入力規制がある項目で誤りがあると、以下のようなエラーメッセージが表示されますので、その指示に従い再度入力を行ってください。



2.2.1 コンボボックスによる入力

次に直接、数値や文字を入力せず、リストより選択するだけで入力が行えるコンボボックスを説明します。下記の図のように、入力部分の右隣のボタン(▼)がある入力項目では、この機能が使用できます。ボタンをマウスで押してみてください。直下にリストが表示されます。



そのリスト中より任意の項目をマウスで選択する事により、それに該当する数値または文字が自動で入力されます。

またリストに表示される項目が多い場合には、リストの右側にスクロールバーが表示されます。これをマウスの操作により、上下へスクロールする事ができます。

2.2.2 チェックボックスによる入力

次に一番汎用的な選択項目の入力方法について説明します。

下記のような入力選択項目は、いずれか一つをマウスで選択する事により入力が決定されます。または矢印キー「←」「→」により選択、「Enter」キーにより次の入力項目へ移動します。

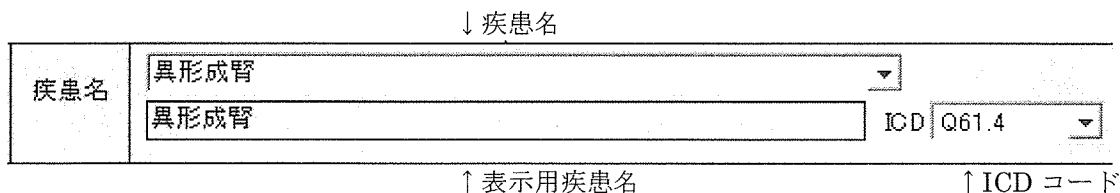


2.2.3 ICD コードの入力について

次に ICD コードの入力方法について説明します。

入力は、対象疾患名または ICD コードのどちらかのコンボボックスによる入力により決定されます。

- ・対象疾患名で入力した場合、ICD コード・表示用疾患名が自動登録されます。
- ・ICD コードで入力した場合、表示用疾患名が自動登録され疾患名はクリアされます。
- ・対象疾病一覧にない疾患名は、ICD コードのみ入力します（疾患名には何も表示されません）。



2.2.4 転入データの入力について

転入となる意見書を入力する場合、必ず転入元の実施主体を登録する必要があります。

疾患(悪性新生物)医療意見書 (平成17年度)

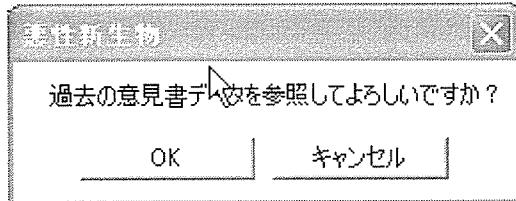
1	保健所番号: 小樽市保健所				
新規	<input type="radio"/> 新規診断	<input checked="" type="radio"/> 転入	岩手県	<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> 再開
生年					

2.2.5 継続データの入力について

継続となる意見書を入力する場合、過去のデータを参照(コピー)して入力することができます。

保健所番号: 小樽市保健所				
新規診断	<input type="radio"/> 転入	<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> 再開	
<input type="radio"/> 早	<input checked="" type="radio"/> 無記入	生年	<input type="radio"/> 昭和	年

「継続」が選ばれると以下のメッセージが表示されますので参照(コピー)する場合「OK」を押します。過去の最新(基本的に昨年度)のデータがあれば参照(コピー)されます。



*参照範囲について

成長ホルモンについては一部、それ以外の疾患群では入力項目の全てを参照(コピー)します。
参照(コピー)後に、本年度の申請内容に基づいて入力項目の修正・追加を行ってください。
本年度のデータを入力後に参照(コピー)を行うと上書きされてしまいます。

またこの参照機能は意見書の「登録」および「修正」機能で利用可能です。

2.2.6 旧 ICD コードについて

廃止された旧 ICD コードなどは、ICD コード右隣に赤字で「*」が表示されます。

ICD A23.4 *

2.3 意見書の登録画面について

各医療意見書の登録は、「確定」または「一括確定」を押下することにより正規データとして本登録されるようになっております。つまりは確定をしない限り、入力データ仮登録の扱いとなり集計・データ出力の対象にはなりません。必ず入力データを確認し、誤入力等が無い事を確認の上、確定作業を行う事を習慣づけるようにしてください。

なお、確定は後述する修正画面にも行えますが、確定されていない意見書データは画面右上に「未確定」と表示されます。

また後述する検索機能により「未確定」データのみを検索することができます。

医療意見書 (平成 17 年度) 県単独事業

: 千歳保健所 未確定

入 継続 再開 無記入・他

登録画面は旧 Ver3.0 と異なり、登録のみを行う画面です。

まず意見書の登録画面には、以下の共通なボタンがあります。

次の医療意見書を入力 確定 閉じる

<< < 1 / 1 > >>

次の医療意見書を入力：次の新規医療意見書の入力状態になります。

確定：現在表示中の意見書の本登録させます。

閉じる：意見書の登録画面を終了します。（必須項目が入力完了している場合は登録されます。）

「<<」「<」「>」「>>」ボタンは使用できません。

なお必須項目（青い文字で表示されている項目）に入力抜けがある場合以下のエラーメッセージが表示されます。

注意 入力エラー

必須項目が未入力です。この意見書を破棄して終了してよろしいですか？

OK キャンセル

このメッセージが表示された場合、必須項目をすべて入力するか「OK」ボタンにて入力医療意見書を破棄してください。

また、慢性腎疾患・内分泌疾患・先天性代謝異常の各医療意見書の登録時には、下記のように成長ホルモン(初回・継続)の医療意見書の入力ボタンが表示されます。

次の医療意見書を入力 確定 閉じる

<< < 1 / 1 > >>

成長ホルモン(初回) 成長ホルモン(継続)

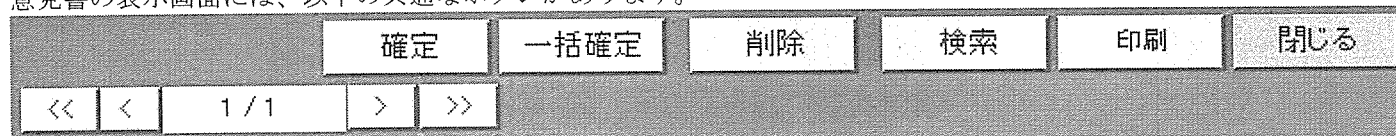
医療意見書に添付されている成長ホルモン医療意見書をここから入力できるようになります。

また特殊なケースで成長ホルモンの医療意見書を入力される場合には、従来の「成長ホルモン」メニューから入力するようにしてください。

2.4 意見書の修正画面について

修正画面では登録した順に意見書データが表示されます。つまり登録した最新の意見書データが最初に表示されます。

意見書の表示画面には、以下の共通なボタンがあります。



- 確定： 現在表示中の意見書を本登録させます。
- 一括確定： 仮登録データを全て本登録させます。
- 削除： 現在表示されている医療意見書を削除します。
- 検索： 特定の項目の検索を行えます。(詳細は2.5 検索機能をご覧ください)
- 印刷： 印刷を行います。(詳細は2.6 印刷機能をご覧ください)
- 閉じる： 意見書の表示画面を終了します。
- <<： 先頭の意見書に移動します。
- <： 一つ前の意見書に移動します。
- >： 次の意見書に移動します。
- >>： 最後の意見書に移動します。

2.5 検索機能

受給者番号・疾患名・名前・医療機関名・未確定のみを検索することができます。

後述するデータ出力時の「未確定データ」も、「未確定」項目を選ぶことで容易に検索することができます。

また、疾患名・名前・医療機関名については部分一致による検索が可能です。

例えば「静脈」で検索した場合「腎静脈血栓」なども検索対象となります。

検索

受給者番号

疾患名

名前

医療機関名

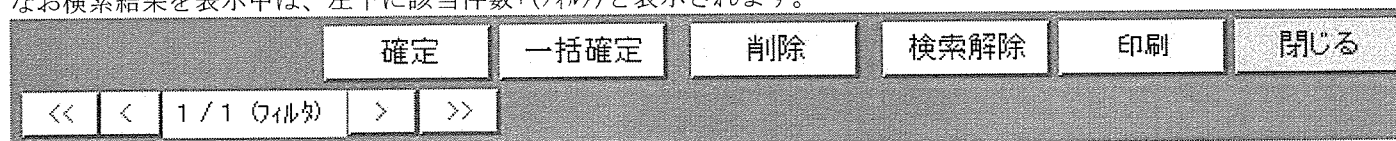
未確定

| 静脈

検索開始キャンセル

上記の画面が表示されますので、「検索する文字列」に検索したい値もしくは文字を入力し「検索開始」ボタンを押します。該当する意見書があれば検索条件に一致した最初の意見書のみが表示され、「検索解除」ボタンが押されるまでこの状態が保持されます。

なお検索結果を表示中は、左下に該当件数+(フィルタ)と表示されます。



2.6 印刷機能

現在表示中の意見書をプリンターに印刷する事ができます。印刷イメージを画面で確認後（プレビュー）左上のプリンタ・アイコンを押すことで印刷する事ができます。

The image shows a screenshot of a medical software interface. At the top, there is a window title bar with standard OS icons and a menu bar containing '閉じる' (Close) and 'ページ' (Page). Below the title bar, the main content area is a form titled '禁止 小児個性特定疾患(個性腎疾患)検査意見書'. The form is divided into several sections with various input fields, checkboxes, and buttons. In the top left corner of the form area, there is a printer icon. The form content includes fields for patient name, date of birth, sex, and examination date, followed by a table for recording examination results.

2.7 データベースの修復と最適化

データベースは使い込むほど無駄な領域が増加して行きます。これにより、徐々にパフォーマンスが下がっていきます。

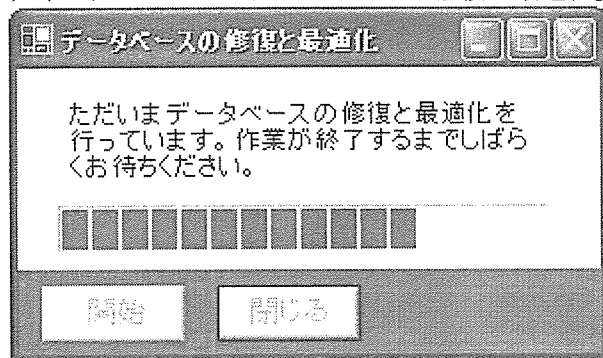
また Windows 不調・パソコン不調・停電等による外的要因により、データベースが破壊されてしまう場合があります。一見動いているようでも結果がおかしい時があります。

週一回または最低でも月一回の「データベースの修復と最適化」を行ってください。

できれば毎回、使用前には「データベースの修復と最適化」を心がける事をお勧めいたします。

さらに中央への「データ出力」前には必ず「データベースの修復と最適化」を行います。

メインメニューの「データベースの修復と最適化」でこの作業を行います。



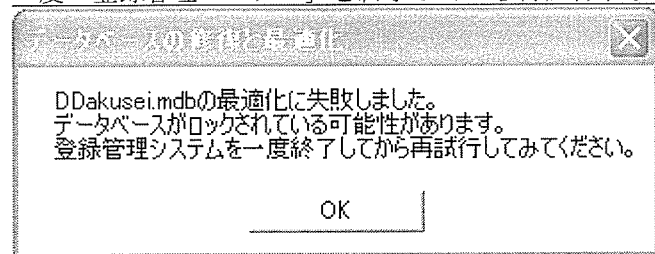
「開始」を押すことで全てのデータベースの修復と最適化が行われます。

<エラーメッセージ>

何らかの原因でデータベースがロック (開かれたままの状態) される場合があります。

この場合、以下のメッセージが表示されます。

一度「登録管理システム」を終了してから再試行することで、このメッセージは表示されなくなります。

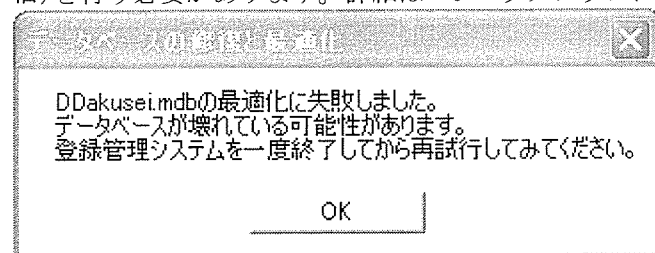


外的要因を含めデータベースが壊れてしまった場合、以下のメッセージが表示されます。

一度「登録管理システム」を終了してから再試行します。

それでも同じメッセージが表示された場合、データベースの修復は困難となります。

この場合、後述する「2.12 データベースのバックアップ」で保管してあったデータベースを用いてリストア (復旧) を行う必要があります。詳細は「5 バックアップについて」をご覧ください。



2.8 データ出力

中央へのデータ出力と、複数台のパソコンによる入力業務を統合するための「地方管理用」データ出力機能があります。

中央提出用は必ずトップメニューの「データ出力(一括)中央提出用」から行ってください。

まず、前述した「2.7 データベースの修復と最適化」を行ってから作業を行います。

その後、出力する年度と出力先のドライブ名とパスを指定して「出力」ボタンを押します。年度単位にて、中央へ送るための医療意見書のデータを CSV ファイル(*1)として出力します。

出力されるデータファイルは、各疾患群毎の「意見書データファイル」「同意有無の件数データファイル」「非同意の統計値データファイル」となります。

ファイル名(意見書識別記号+年度+都道府県等番号)は固定となります。

また「保健所データファイル」も併せて出力されます。

なお、出力時には確定および未確定データの件数が表示されます。未確定データがある場合、出力対象外となりますので出力前に今一度の意見書データの再確認をお願いいたします。

未確定データは各疾患群の「修正画面」にて容易に検索および修正が可能です。

詳しくは「2.5 検索機能」をご覧ください。

未確定データが存在します。
未確定データは出力対象外です。
出力する前に未確定データを再確認してください。

出力年度: 17

出力先: E:*

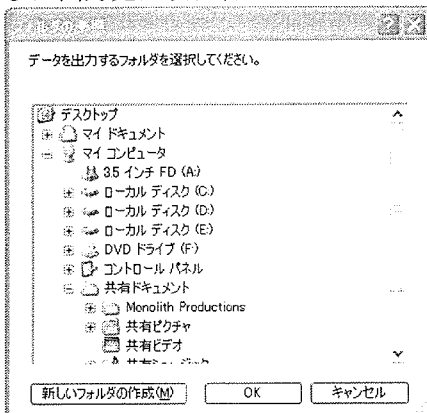
保健所データ
HC17001.csv

悪性新生物	膠原病	慢性消化器疾患
mal117001.csv 確定 17 件	coll17001.csv 確定 0 件	dige17001.csv 確定 1 件
Ma_D17001.csv	Co_D17001.csv	Dg_D17001.csv
慢性腎疾患	糖尿病	成長ホルモン: 分泌不全性低身長症
rena17001.csv 確定 6 件	diab17001.csv 確定 0 件	ghd117001.csv 確定 3 件
Re_D17001.csv	Di_D17001.csv	G_D117001.csv
慢性呼吸器疾患	先天性代謝異常	成長ホルモン: 軟骨無形成症
asth17001.csv 確定 0 件	meta17001.csv 確定 0 件	ghd217001.csv 確定 0 件
As_D17001.csv	Me_D17001.csv	G_D217001.csv
慢性心疾患	血友病等血液・免疫疾患	成長ホルモン: 慢性腎不全
hear17001.csv 確定 0 件	bloo17001.csv 確定 2 件	ghd317001.csv 確定 2 件
He_D17001.csv 未確定 3 件	Bl_D17001.csv	G_D317001.csv
内分泌疾患	神経・筋疾患	成長ホルモン: 継続
endo17001.csv 確定 0 件	nerv17001.csv 確定 0 件	ghd417001.csv 確定 0 件
En_D17001.csv	Ne_D17001.csv	G_D417001.csv

その他に非同意の統計値データ(H*.csv)を出力します。

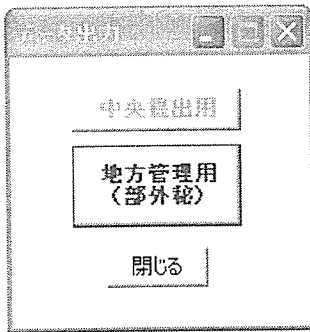
出力 閉じる

また出力先は項目右にあるボタンを押すことで容易に出力先を指定することができます。

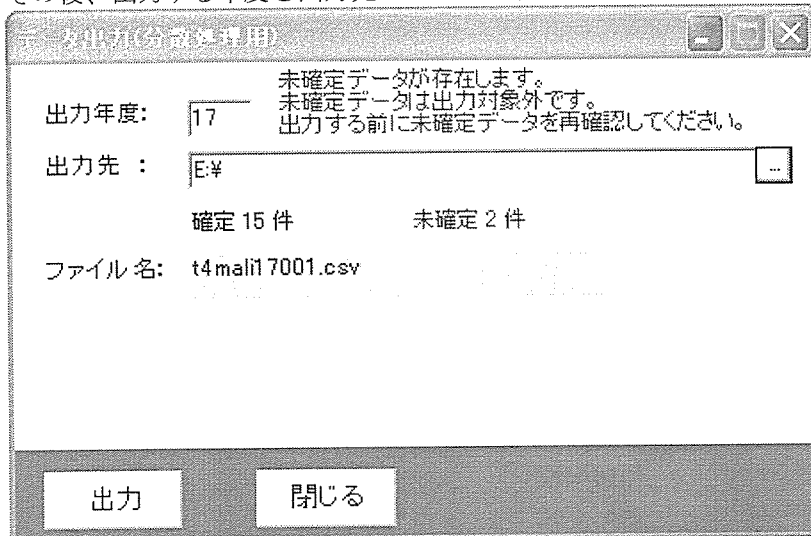


*1: CSV ファイル: データベースの内部データを項目毎に「,」(カンマ)で区切り、テキストファイル形式で出力したもの。Access 間でのデータ受け渡し、Excel での加工等も行える世界標準形式。

地方管理用は中央提出用のデータとは異なり、個人データ等も含まれた内容を出力しますので取り扱いには充分ご注意ください。



地方管理用の場合、疾患群毎のメニューで「データ出力」－「地方管理用(部外秘)」よりデータを出力します。
まず、前述した「2.7 データベースの修復と最適化」を行ってから作業を行います。
その後、出力する年度と出力先のドライブ名とパスを指定して「出力」ボタンを押します。

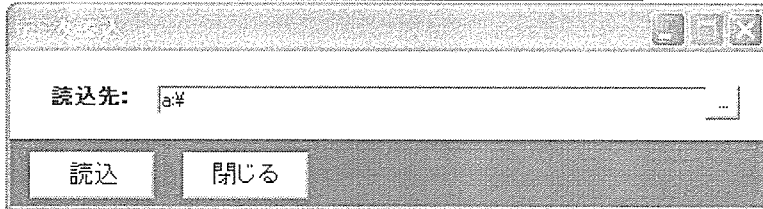


ファイル名の先頭に「t4～」が付加された形式で出力されますが、中央提出用との混同を避けるためにも、別々のフォルダ管理を行うようにしてください。
なお旧バージョンではファイル名の先頭が「t3～」となっており、ファイル名により新旧の識別が容易になっております。
なお、出力時には確定および未確定データの件数が表示されます。未確定データがある場合、出力対象外となりますので出力前に今一度の意見書データの再確認をお願いいたします。
未確定データは各疾患群の「修正画面」にて容易に検索および修正が可能です。
詳しくは「2.5 検索機能」をご覧ください。

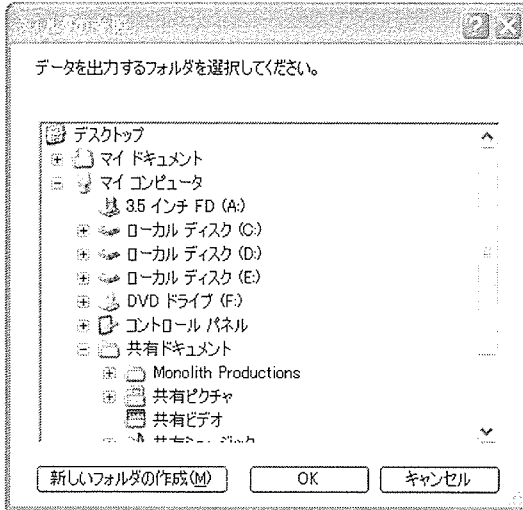
稀にテスト的に入力したデータが混在されたまま中央へ送られてくる場合があります。
また、データ出力したファイルを MS-Excel 等で編集してから中央へ送られてくる場合が見受けられますが、この場合にはデータ構造が壊れてしまいデータを読み込むことができなくなります。
中央向けに出力したデータは一切手を加えないでお送りください。
これら2点については十分ご注意ください。

2.9 データ読込

データの読み込みは、統合するパソコンで行います。



各疾患群メニューの左下にある「データ読込」を押下すると上記の画面が表示されます。また読込先は項目右にあるボタンを押すことで容易に出力先を指定することができます。



個々のパソコンからデータ出力したネットワーク上の共有ディレクトリ、または CD ドライブなどの読込先を指定して「読込」を押下します。メッセージに従いデータを統合して処理を終了します。また、旧 Ver3 データの読み込みも行えます。(Ver 3 以前の旧データ形式には未対応です)

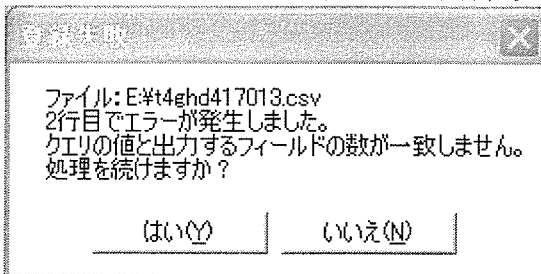
*注意

重複データ等の不正データがあった場合には、正常に読み込めない場合があります。

また、中央提出用データファイルは読み込めません。

また、Ver1 および Ver2 形式の旧データ形式には未対応です。Ver3 にてデータ読込およびデータ出力を行ってから Ver4 に読み込んでください。

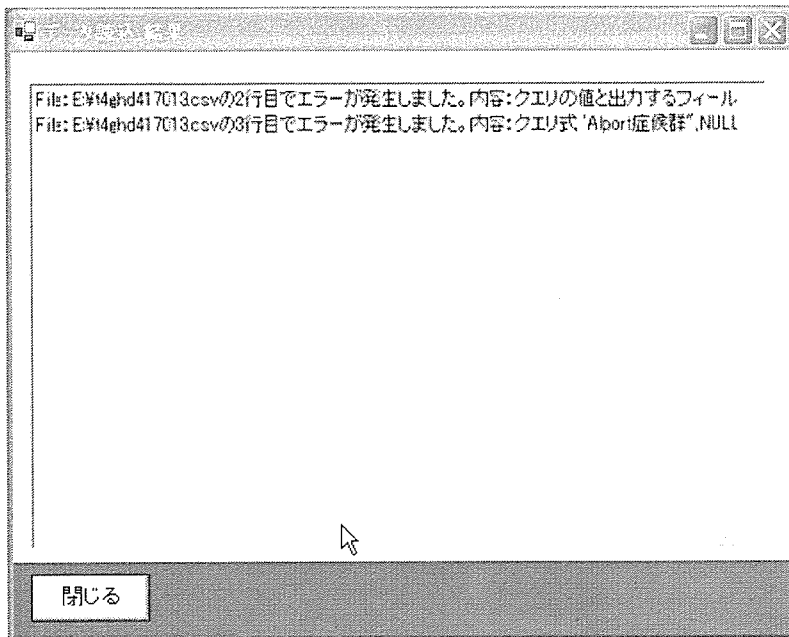
データ読込み中にエラーが発生した場合、以下のようなメッセージが表示されます。



続行する場合は「はい」を中断する場合は「いいえ」を押してください。

エラーについては次の頁を参照してください。

データ読み込みが終了すると「データ読込 結果」画面が表示されます。
エラーが検出された「ファイル名」+「エラーとなった行番号」+「その内容」が表示されます。
また、エラーが検出されなかった場合には「データ読み込みは正常に終了しました。」と表示されます。



なお、データ読み込み中に発生したエラーはログ・ファイルとして保存されています。
通常であれば「C:\ProgramFiles\小児慢性特定疾患登録管理システム Ver4.0\LOG\ErrorLog.txt」
に上記の画面で表示されたエラー内容と同じ物が保存されています。
(次回データ読み込みを行うまでエラー情報は保持されます)

<読み込みエラーについて>

上述した「エラーの内容」は専門的なメッセージが含まれていますが、「ファイル名」「行番号」を指標として問題を取り除くことができます。

データ読み込みで失敗する場合、その原因のほとんどは以下の4点に絞られます。

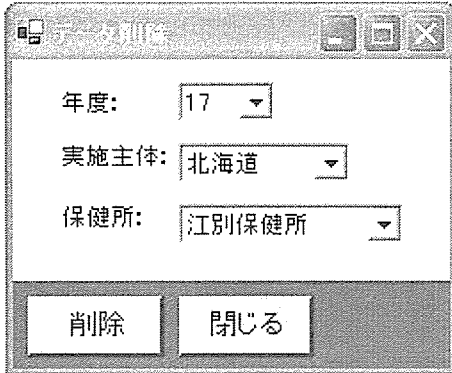
1. 重複データを読みもうとした。
2. MS-Excel で編集したデータファイルを読みもうとした。
3. 入力項目に改行が入っている。(医療機関名などの項目)
4. 入力項目に半角の「” (ダブルクォーティション)」や「' (シングルクォーティション)」または「,(カンマ)」が含まれている。

上記の3および4については、Windows に添付されている「メモ帳」などのテキスト・エディタで直接編集することで回避できます。この時にはMS-Excel は絶対に使用しないでください。

なお、読み込みデータを編集する場合には現場管理者にご相談ください。

2.10 データ削除

各疾患群毎のメニューに、「データ削除」機能があります。
不要となった旧データを、年度もしくは実施主体もしくは保健所単位に削除することができます。
各項目にリスト表示される内容は実際に存在するデータを基にしています。



*注意：削除されたデータは復元できません。必ず予め「2.11 データベースのバックアップ」をする事をお勧めします。

2.11 保健所管理

保健所コードが変更された場合、この画面より変更を行います。
この管理は、トップメニューの「マスタデータ・メンテナンス」－「保健所管理」から実施します。



*注意：絶対に削除は行わないでください。システムの誤動作の元となります。
保健所が廃止された場合などは「32 廃止(H11.10.12)」などと修正してください。

2.12 データベースのバックアップ

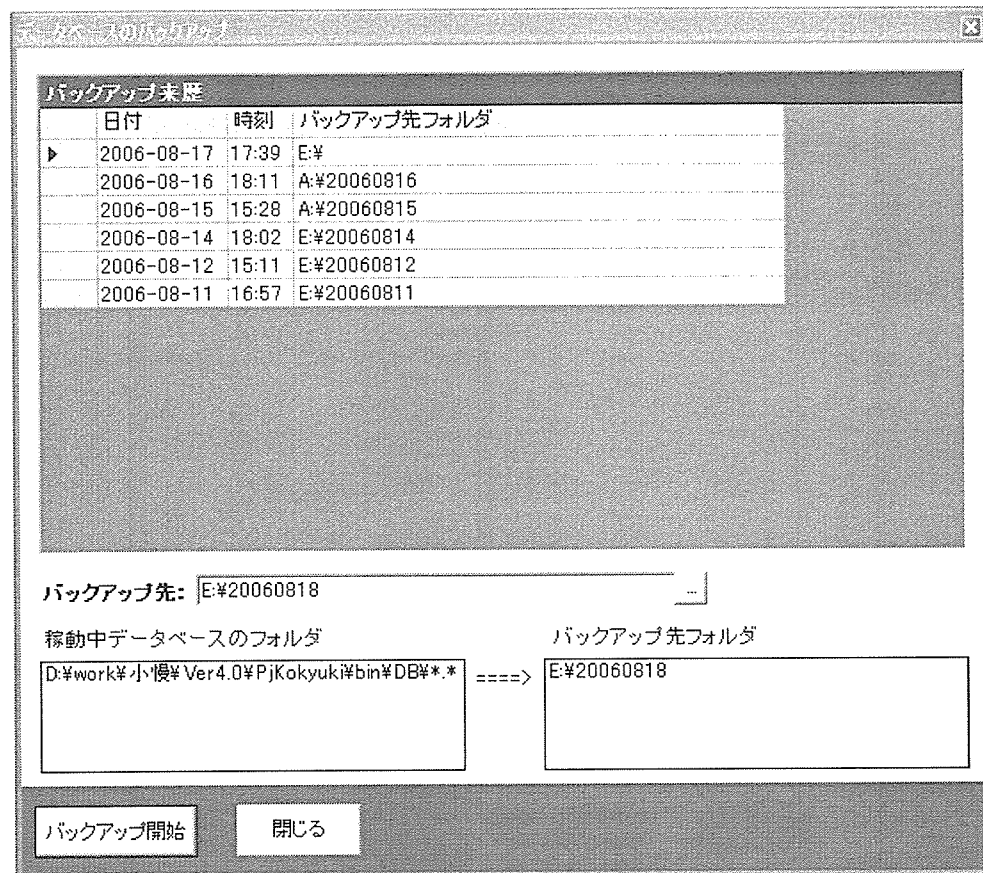
予想外の事態によりデータベースが壊れてしまう場合があります。

必ず毎作業後にはデータベースのバックアップを行うようにしてください。

また常に同じフォルダに上書き管理せず、別フォルダなどに分け世代管理しておくことをお勧めします。

データベースのバックアップを行う際、メインメニューの「データベースのバックアップ」を利用することで容易なバックアップ作業と来歴をも管理することができます。

まず、前述した「2.7 データベースの修復と最適化」を行ってから作業を行います。



バックアップ先を指定し「バックアップ開始」を押すことで、画面上段に来歴(日付・時刻・バックアップ先フォルダ)が表示されます。

これにより、いつ、どこへバックアップを行ったのかが分かるようになっています。

3 各医療意見書について

3.1 悪性新生物の医療意見書

小児慢性特定疾患 登録管理システム Ver. 4.0 (悪性新生物)			
登録 小児慢性特定疾患(悪性新生物)医療意見書		(平成 17 年度) <input type="checkbox"/> 県単独事業	
都道府県・指定都市・中核市番号:	1	保健所番号:	小樽市保健所 未確定
受給者番号:	10123	新規 <input checked="" type="radio"/> 新規診断 <input type="radio"/> 転入	<input type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 再開 <input type="radio"/> 無記入・他
患者	ふりがな やまだたろう 氏名 山田太郎	<input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 無記入 <input type="radio"/> 女	生年月日 <input type="radio"/> 昭和 13 年 1 月 1 日 <input checked="" type="radio"/> 平成 (満 4 歳 4 ヶ月)
発病	<input type="radio"/> 昭 <input checked="" type="radio"/> 平 16 年 2 月頃 (満 3 歳 1 ヶ月)	初診日	<input type="radio"/> 昭 <input checked="" type="radio"/> 平 16 年 3 月 1 日
疾患区分	01 悪性新生物	病理診断名:	AML without maturation, FAB: M1 AML without maturation, FAB: M1
		原発臓器名:	
		FAB分類:	L(1) M(0) 腫瘍診断コード: 9873
		病期, Stage:	<input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 4s <input type="radio"/> 5 <input checked="" type="radio"/> 無記入・他 部位コード:
現在の症状: 転移 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無記入			
骨髄スメア (腫瘍細胞 24%)			
細胞組織化学 ヘルミンターゼ <input checked="" type="radio"/> - <input type="radio"/> ± <input type="radio"/> + <input type="radio"/> 無記入・他 イステラーゼ <input checked="" type="radio"/> - <input type="radio"/> ± <input type="radio"/> + <input type="radio"/> 無記入・他			
腫瘍マーカー VMA <input type="radio"/> 正常 <input type="radio"/> 境界 <input checked="" type="radio"/> 異常 <input type="radio"/> 無記入・他 HVA <input type="radio"/> 正常 <input type="radio"/> 境界 <input type="radio"/> 異常 <input type="radio"/> 無記入・他			
NSE <input checked="" type="radio"/> 正常 <input type="radio"/> 境界 <input type="radio"/> 異常 <input type="radio"/> 無記入・他 AFP <input type="radio"/> 正常 <input type="radio"/> 境界 <input type="radio"/> 異常 <input type="radio"/> 無記入・他			
CEA <input checked="" type="radio"/> 正常 <input type="radio"/> 境界 <input type="radio"/> 異常 <input type="radio"/> 無記入・他 HCG <input checked="" type="radio"/> 正常 <input type="radio"/> 境界 <input type="radio"/> 異常 <input type="radio"/> 無記入・他			
Ferritin <input type="radio"/> 正常 <input type="radio"/> 境界 <input type="radio"/> 異常 <input checked="" type="radio"/> 無記入・他			
CT: <input type="radio"/> 未実施 <input checked="" type="radio"/> 実施 (所見: <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無記入・他)			
MRI: <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 実施 (所見: <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無記入・他)			
アンギオ: <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 実施 (所見: <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無記入・他)			
染色体検査: <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 実施 (所見: <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無記入・他)			
DNA診断: <input type="radio"/> 未実施 <input checked="" type="radio"/> 実施 (所見: <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無記入・他)			
N-myc増幅: <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 実施 (所見: <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無記入・他)			
その他の現在の主な所見等: 合併症 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無記入・他			
神経芽細胞腫の場合、どれかに○印			
<input checked="" type="radio"/> マスクリーニングで発見 <input type="radio"/> その他で発見 (マスクリーニング受検 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 無記入・他)			
1つに○印: <input type="radio"/> 治療未開始 <input type="radio"/> 治療中 <input checked="" type="radio"/> 治療終了 (平成 年 月)			
1つに○印: <input type="radio"/> 治癒 <input type="radio"/> 寛解 <input checked="" type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 不変 <input type="radio"/> 再発 <input type="radio"/> 悪化 <input type="radio"/> 死亡 <input type="radio"/> 判定不能 <input type="radio"/> 無記入・他			
治療見込	入院	平成 年 月 日	から平成 年 月 日
	通院	平成 16 年 3 月 1 日	から平成 17 年 5 月 5 日 (月 4 回)
上記の通り診断する		医療機関所在地	小樽市
平成 17 年 5 月 5 日		名称	小樽中央病院 小児 科
		医師氏名	同意 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無

【項目別入力方法】

平成 年度 - - - - - 「2.1 年度・実施主体設定」により登録されている年度を表示します。

県単独事業 - - - - - 各都道府県等での単独事業の場合のみ入力します。

都道府県・指定都市・中核市番号

- - - - - 「2.1 年度・実施主体設定」により登録されている都道府県・指定都市・中核市

	番号を表示します。
保健所番号 - - - - -	「各保健所」「不明」「該当無し」より選択します。
受給者番号 - - - - -	半角数字の右詰で、そのまま入力します。
新規・継続 - - - - -	[新規診断]、[転入]、[継続]、「再開」「無記入・他」のいずれかを選びます。 「転入」を選んだ場合は転入元の実施主体を選んでください。 「継続」を選んだ場合、過去最新の意見書の内容を参照表示します。必要箇所を変更し、登録することができます。
患者(ふりがな・氏名) - - -	各都道府県等で必要な場合のみ入力します。プライバシー保護のため、中央へは出力しません。
男女 - - - - -	[男]、[女]、[無記入]のいずれかを選びます。
生年月日 - - - - -	[昭和]、[平成]を選び、[y年m月d日]は半角数字の右詰で、そのまま入力します。
発病 - - - - -	[昭和]、[平成]を選び、[y年m月頃]は半角数字の右詰で、そのまま入力します。
初診日 - - - - -	[昭]、[平]を選び、[y年m月d日]は半角数字の右詰で、そのまま入力します。
病理診断名 - - - - -	記入欄右の選択ボタンを押し、選択肢の中から該当するものを選んで入力します。 下段に疾患名が、腫瘍診断コードに該当するコードが表示されます。
原発臓器名 - - - - -	記入欄右の選択ボタンを押し、選択肢の中から該当するものを選んで入力します。
腫瘍診断コード - - - - -	記入欄右の選択ボタンを押し、選択肢の中から該当するものを選んで入力します。 該当する病理診断名が表示されます。
部位コード - - - - -	記入欄右の選択ボタンを押し、選択肢の中から該当するものを選んで入力します。 該当する原発臓器名が表示されます。
FAB 分類 L - - - - -	小数点以下は切り捨てて、半角数字。(1桁)の右詰で入力します。
FAB 分類 M - - - - -	小数点以下は切り捨てて、半角数字。(1桁)の右詰で入力します。
病期、STAGE - - - - -	[1]、[2]、[3]、[4]、[4s]、[5]、[無記入・他]のいずれかを選びます。
転移 - - - - -	[無]、[有]、[無記入]のいずれかを選びます。
腫瘍細胞(%) - - - - -	小数点以下は切り捨てて、半角数字。(2桁以内)の右詰で入力します。
ペルオキシダーゼ - - - - -	[-]、[±]、[+]、[無記入・他]のいずれかを選びます。
エステラーゼ - - - - -	[-]、[±]、[+]、[無記入・他]のいずれかを選びます。
VMA - - - - -	[正常]、[境界]、[異常]、[無記入・他]のいずれかを選びます。
HVA - - - - -	同上
NSE - - - - -	同上
AFP - - - - -	同上
CEA - - - - -	同上
HCG - - - - -	同上
Ferritin - - - - -	同上
CT - - - - -	[未実施]、[実施]、[所見無]、[所見有]、[無記入・他]のいずれかを選びます。
MRI - - - - -	同上
アンギオ - - - - -	同上
染色体検査 - - - - -	同上
DNA 診断 - - - - -	同上
N-myc 増幅 - - - - -	同上
合併症 - - - - -	[無]、[有]、[無記入]のいずれかを選びます。
神経芽細胞種 - - - - -	[マスキリングで発見]、[その他で発見]、[マスキリング受検有]、 [マスキリング受検無]、[無記入・他]のいずれかを選びます。
治療状況 - - - - -	[治療未開始]、[治療中]、[治療終了]のいずれかを選びます。
治療終了時期 - - - - -	[平成 y年 m月]を半角数字の右詰でそのまま入力します。
経過 - - - - -	[治癒]、[寛解]、[改善]、[不変]、[再発]、[悪化]、[死亡]、[判定不能]、[無記入・他]のいずれかを選びます。
治療見込期間(入院) - - -	開始日 [平成 y年 m月 d日] から終了日 [平成 y年 m月 d日] を半角数字の右詰で、そのまま入力します。
治療見込期間(通院) - - -	開始日 [平成 y年 m月 d日] から終了日 [平成 y年 m月 d日]、月の通院回数を半角数字の右詰で、そのまま入力します。
診断年月日 - - - - -	[y年m月d日]は半角数字の右詰でそのまま入力します。
医療機関所在地 - - - - -	当該の医療機関所在地を入力します。